

ME AND MY GIRL



富山から創造発信している「名作ミュージカル上演シリーズ」。オーバード・ホールならではのスケール感ある作品は、全国から注目を集めて年々話題となっています。「ミー＆マイガール」は、2013年に初演し絶賛された作品。新演出を加え、これぞミュージカル!というステージを、再び富山からお届けします。

CAST



STORY

1930年代、ロンドン。名門貴族ヘアフォード伯爵邸では跡継ぎを残さないまま当主が亡くなり、後継者探しが問題となっていた。当主の遺言は、若いころのあやまちで出来た一人息子を捜し出し、彼が貴族にふさわしい人間ならば爵位と全財産を継がせる、というものだった。だが、弁護士が見つけたのは下町ランベスで育った教養のないがさつな青年、ビル・スニブソン。貴族の跡継ぎに似つかわしくない下品で野蠻なビルに、ヘアフォード邸は大騒ぎ。叔母のマリア公爵夫人の教育が始まるが…。

STAFF

- 演出 本間 憲一
- 振付・演出協力 ロジャー・カステヤノ
- 訳詞・翻訳 寺崎 秀臣/柳田 麻友子
- 舞台美術 土屋 茂昭
- 衣裳 井上 サチ子
- ヘアメイク 宮内 宏明
- 音楽監督・指揮 若林 裕治
- 歌唱指導 小林 仁
- 稽古ピアノ 伊藤 祥子
- 演出助手 山本 聡子
- 舞台監督 菅原 多敏弘
- テクニカルディレクター 毎熊 文崇
- 照明 渡部 良一
- 音響 曾根 朗
- プロデューサー 奈木 隆
- 企画制作 (公財)富山市民文化事業団

ENSEMBLE

アンサンブル ※五十音順
 石瀬 みつほ/上島 一希/内田 靖子/岡本 悠紀/木南 清香
 黒沼 亮/後藤 いずみ/佐藤 弘樹/冨月 里実/清水 夏生
 庄野 早冴子/白山 博基/鈴木 絢弓/中本 雅俊/藤井 凜太郎
 藤岡 義樹/松本 和自/室田 勝/山越 千歌/渡邊 恭子

准アンサンブル ※五十音順
 青葉 みちる/大西 杏奈/小堀 雅行/久田 潤/藤川 未央

ORCHESTRA

ミュージカルオーケストラTOYAMA

チケット [全席指定・税込] 大人券/5,000円 ジュニア券(高校生以下)/2,000円 *未就学児童のご入場はご遠慮ください。

【アスネット会員 先行発売日】7/25(土)のみ
 【一般発売日】8/8(土)から
 【プレイガイド】●アスネットカウンター(オーバード・ホール1階) TEL.076-445-5511
 ●チケットぴあ TEL.0570-02-9999(Pコード444-348) ●ローソンチケット TEL.0570-084-005(Lコード:58586)
 ●e+(イープラス) ●アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、高岡文化ホール、新川文化ホール) ●富山大和 ●高岡大和

特別割引プラン 平日公演を座席エリア&座数限定で30%割引!
 平日の公演をよりお手ごろにお楽しみ頂くために、充実の割引プランをご用意しました。

割引プラン名	対象	割引プラン名	対象
シニア割	60才以上	ペア割	同じ公演をおふたりでご鑑賞の方
マイセレクト割	公演日時、券種の組み合わせは自由で2枚以上同時にご購入の方	障害者割	障害者手帳をお持ちの方 ※チケット購入時または公演入場時に障害者手帳をご提示ください。

★座席は3階後方、4階となります。ご了承ください。★特別割引チケットはアスネットカウンター(オーバード・ホール1階)のみでご購入いただけます。
お得な宿泊パック、ランチパック、バスツアーもご用意しています。詳細はホームページをご確認ください。

オーバード・ホール

富山市民文化事業団 (公財)富山市民文化事業団 TEL.076-445-5610
オーバード・ホール 〒930-0858 富山市牛島町9-28

【交通の案内】
 富山駅北口正面より徒歩2分。
 航空利用:富山空港到着後、空港よりタクシーで20分、バスで富山駅まで25分
 お車利用:北陸自動車道富山IC出口から20分
 ※オーバード・ホールには駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

オーバード・ホール名作ミュージカル上演シリーズ第6弾
 演出:本間 憲一/振付:演出協力:ロジャー・カステヤノ/プロデューサー:奈木 隆

ME AND MY GIRL

ミー & マイガール

ビル・スニブソン 剣 幸

ジャッキー 秋山 エリサ

ジェラルド 高山 光乗

マリア公爵夫人 中尾 ミエ

ジョン男爵 宝田 明

サリースミス 野田 久美子

Book and Lyrics by L. Arthur Rose and Douglas Furber
 Music by Noel Gay
 Book revised by Stephen Fry
 Contributions to revisions by Mike Ockrent

2015 全5回公演 11/12(木) 13(金) 14(土) 15(日)
 13:00開演 13:00開演 12:00開演 17:00開演 13:00開演
 *開場は、開演の30分前です。

オーバード・ホール (富山市芸術文化ホール)

■主催 / (公財)富山市民文化事業団、富山市 ■共催 / 北日本新聞社
 ■後援 / 富山新聞社、読売新聞北陸支社、北陸中日新聞、朝日新聞富山総局、毎日新聞富山支局、日本経済新聞社富山支局、産経新聞社、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、北陸朝日放送、(一社)富山ケーブルテレビ協議会、FMとやま、富山シティエフエム、(一社)富山県芸術文化協会、富山商工会議所、株式会社シー・イー・ビー
 ■協力 / 東宝ミュージック株式会社、桐朋オーケストラ・アカデミー、宝塚歌劇団、アートネイチャー

【お問合せ先】 公財法人 富山市民文化事業団 TEL.076-445-5610 〒930-0858 富山県富山市牛島町9-28 オーバード・ホール内

観てハッピー! 聴いてハッピー! 泣いて笑って最高にハッピー!

ミー & マイガール

ME AND MY GIRL

笑い転げて、少しホロリ。見終わった後は胸いっぱいの幸福感に包まれる、ミュージカル『ミー&マイガール』が熱烈な要望にお応えして再演決定! 普段ミュージカルを観ていない方も楽しめる、おすすめの数作です! 『ミー&マイガール』は、あの「マイ・フェア・レディ」の男性版とも言われるシンデレラ・ストーリー。1937年にロンドンで生まれ、時代をこえて今も世界中で愛され続けています。日本でも1987年に宝塚歌劇団によって初演され、その後も、繰り返し上演されている人気作です。

富山スタイル・ミュージカル
『ミー&マイガール』を
120%楽しもう!

ポイント
1

物語がハッピー♪ 子供から大人まで楽しめる!

物語は、名門貴族ヘアフォード伯爵の跡継ぎが、実は下町ランベスで育った青年ビルだった!ということから始まります。跡継ぎに似つかわしくない野蛮でがさつなビルを、貴族に仕立てるといふから、さあ大変!そんな中、ビルとその恋人サリーに訪れる数々の試練…。一途にお互いを想い合う恋人たちの姿は、もう羨ましくて、ドキドキして、切なくて…。まさしくラブコメディの王道!分かりやすいストーリーなので、お子さんに物語の展開を説明する必要もありません。世代を超えて楽しめます!



ポイント
2

ダンスがハッピー♪ 「ランベス・ウォーク」で盛り上がりよう!

『ミー&マイガール』は、ウキウキするダンスシーンが満載!なかでも特に盛り上がるのが一幕最後の「ランベス・ウォーク」!伯爵邸で開かれているパーティーに乗り込んできた下町ランベスの仲間がお得意のダンス「ランベス・ウォーク」を繰り広げると、ツンとすました上流社会のパーティーが一気に様変わり。全キャストが客席になだれ込んで歌い踊ると、ハッピー指数も最高潮!舞台と客席が一体になって盛り上がります。

ポイント
3

音楽がハッピー♪ オーケストラの生演奏で聴く、名曲の数々!

富山スタイル・ミュージカルの醍醐味は、オーケストラピットからの迫力ある生演奏!しかもお届けするのはフルオーケストラという贅沢さ。さらに演奏を担当する“ミュージカルオーケストラTOYAMA”はメンバー全員が富山ゆかりの音楽家達です。

ビルとサリーが歌う主題歌「ミー&マイガール」、思わず踊りたくなる「ランベス・ウォーク」、切ないバラード「一度ハートを取られたら」「街灯によりかかって」など名曲の数々を至福の演奏でお楽しみください!



ポイント
4

愛すべきキャラクターたちがハッピー♪ 個性派キャストにご注目!

『ミー&マイガール』に登場するのは、陽気で天真爛漫なビルとサリーをはじめ、とことん愉快で憎めないキャラクターばかり。ちょっぴり意地悪な人は出てきても、悪い人なんて誰もいない、愛すべき人々の物語です。

演じるキャストも個性あふれる実力派ぞろい。堅物だけど心優しいジョン男爵には、圧倒的な存在感とダンディズムで魅せる【宝田明】。ビルの教育係マリア公爵夫人には、ベテラン女優の落ち着きとユーモアセンスが光る【中尾ミエ】。ビルが愛する恋人サリーには、輝く笑顔が最高にキュートな【野田久美子】。ビルを誘惑する令嬢ジャッキーには、【秋山エリサ】。頼りなくて憎めないジェラルドには【高山光乗】が顔をそろえました。ミュージカル・コメディにぴったり!のキャストでお贈りします。



ポイント
5

絶対見逃せない! 剣幸が演じる伝説のビル。

男役のビルを演じるのは、1987年『ミー&マイガール』日本初演でビル役を演じて異例のロングランを記録した元宝塚歌劇団月組トップスター剣幸、そのひと。オリジナルキャストであった剣が26年ぶりに再びビルを演じて話題になったのは一昨年のこと。宝塚歌劇団退団後、女優としてのキャリアを積んだ剣が演じたビルは、人間味に溢れていると、絶賛されました。

あれから2年がたち、剣幸が再びビルに挑みます。「伝説のビル」をお見逃しなく!



あの幸せなひとときを再び。前回の公演にお寄せいただいたご感想。

◆ステージの躍動感が観客席に流れ込み、巻き込まれ、飲み込まれ、素敵な時間を過ごしました。帰路でも足が弾み、どっぷり余韻まで楽しめました。 富山県・女性

◆レベルの高さに驚きました。こんな素敵な舞台が富山だけで終わるのはあまりにも勿体ない。 愛知県・女性

◆とにかく素敵!切ない場面も多いけど必ず笑顔になって。出演者の笑顔も最高! 広島県・女性

◆剣さんのビル、期待以上の若々しい青年ビルに再会できて夢のようです。笑顔あふれるパワーをもらえるミュージカルでした! 大阪府・女性

『あのキュートなビルから四半世紀(!)再び挑んだビルがまた素晴らしかった。弾むコメディセンスと温かな人間味が溢れているのだ』

映画・演劇評論家 萩尾 瞳

『剣幸は若い!往時と変わらない美青年ぶりを見せ、しかもさらにうまくなっているの。なんとも達者だし、軽快な動きに感心』

映画・演劇評論家 小藤田 千栄子

ミュージカル出版社刊行「ミュージカル」vol.326 劇評より

